



写真上左より/就任あいさつする本川博孝 新会長 弘中副会長 寺谷副会長 松崎副会長

新役員体制で2016年度スタート！ 一本川博孝会長、弘中光典・寺谷昭人・松崎浩哉副会長を選出



11月19日(木)倉吉未来中心・小ホールにおいて、ご来賓・代議員・役員を合わせ約180人の参加のもと、「第23回定期大会」を開催し、2015年度活動・決算報告ならびに2016年度活動方針、予算、新年度役員を提案し、満場一致で承認されました。

※出席者内訳/代議員111人・特別代議員4人・執行部29人 (うち女性18人 (16.2%))

また、本大会では、連合鳥取「第3次男女平等参画推進計画」に基づき、新年度役員に女性代表の執行委員を3名選出しました。

(写真左より/女性代表 浅田執行委員 吉田執行委員 竹田執行委員)



大会・議案討議の様子



あいさつする五十嵐美知義会長



議長団【左より】 藤木 真由代議員 (情報労連) 井田 尚子代議員 (紙パ連合)



祝電披露 山田秀之副事務局長



各種委員長の報告【左から】 資格審査委員長/桑村 紀幸執行委員 大会運営委員長/若月 哲郎執行委員 選挙管理委員長/米村 徹執行委員



活動報告・議案提案【左から】 田中 穂事務局長 吉田 正副事務局長

報告・運動方針への寄せられた質疑・ご意見 (主旨)

⇒(青) 執行部答弁



吉田代議員(自治労) 西村代議員(自治労) 内田代議員(日教組)

条件なども含め、今後も政策・制度の中で訴えていく。また、例えば、鳥取県議会の推薦議員を通じて意見提言していくなど、連合鳥取としても取り組んでいきたい。
「自治体非正規労働者」の労働条件改善について
鳥取県内の自治体の常勤的非正規労働者は約5800人で、短時間勤務の労働者を含めると、たぶん8千人を超える想定される。方針の中の「非正規労働問題」の部分で、「自治体非正規労働者」についても「パート労働法」、「労働契約法」の趣旨を自治体に適用させるような法改正、実態的な仕組みづくりなど政策・制度要求で要請していただきたい。
⇒連合鳥取の政策・制度に触れられていないということでしたが、今後取り組んでいくことには間違いはない。この問題については、法律を変えるしかないというのが現実。官公部門との連携強化を図り、本部代表者などのあらゆる場をとらえて、粘り強く取り組んでいくしかないと考えている。いかなる状況でも、公正な労働環境で、人が大切にされる、労働者が大切にされる環境で働くことが第一義である。
「平和運動の推進」について (安保問題)
安倍政権の暴走を絶対に許すことはできない。今、組織された運動ができるのは労働組合しかなく、労働組合が果たすべき役割が確実にあると考える。その上で、今後は「戦争法案は成立したけれども実質的に運用させない」取り組みがまだ続くと思う。ぜひ、行動提起をしていただきたい。
⇒この1年間に、鳥取で1回、倉吉で1回、西部では3回集会を実施しており、多くのみなさんに参加いただいた。この集会やデモの成果は「選挙」、来年の「参議院選挙」で表すしかない。今後も執行部でしっかり協議し、取り組みを行ってきたい。
「沖縄問題」について
今、「米軍基地の辺野古移設」について、沖縄県と国とで争っている。私たちは沖縄の労働者と連帯した活動をしていくべき。今まで実施している連合の取り組みは継続していただきたいが、それ以外に沖縄と連帯してやっていこうという考えがあるか聞きたい。
⇒連合方針として「米軍基地の整理縮小」を謳っているの、これに結びつく運動は連合鳥取としても実施していく。まず、一人ひとりが、「あれは沖縄のこと」「人のこと」とせず、「この国内で起きている大きな問題」と認識を改める必要がある。連合沖縄と相談したりしながら取り組んでいく。方針の中に「平和学習に関する現地学習会を開催します」としている。まず、現実、現場を知ることが重要であると考えている。みなさんと相談しながら、2年間の内には何か計画をしていきたい。
・最低賃金の取り組みについて、組合員で取り組めることはないだろうか。例えば、署名活動の取り組みなど。街宣行動は取り組んでいると報告があったが、議員になられる方と政策協定を結ぶ際に最低賃金の底上げを入れるなどいかがか。最賃が上がることによって、ここに掲げられているスローガンが実現できるのではないかとと思うのでご検討いただきたい。
⇒最低賃金も大きな課題であり、民主党政権時、「できる限り早期に800円、最終的には1時間1000円」を掲げ、継続して取り組んでいるが、なかなか追いついていないのが実態。連合鳥取としても昨年は鳥取県議会において陳情を提出し、最終的には、鳥取県議会の名において内閣総理大臣等に意見書を提出した。ただ、最低賃金制度自体は国の問題であり、知事に言ってもあまり前進が図れないので、取り組みに苦慮しているところ。世論を喚起することは非常に重要であるので、中小零細企業が元気になる制度とあわせて取り組んでいきたい。非常に建設的なご意見をいただいたので、連合鳥取の取り組みの中で活動を精査して取り組んでいきたい。

労働組合の立場から、引き続き、「私学助成」の拡充や、直接教育現場に従事する労働者の声を行政へ意見反映していく取り組みを進めてほしい。
⇒少子化が進む中で、私学経営は非常に難しい状況で、学校の改修ができないなどと聞く。そこで働く先生方の労働環境を改善してほしい。

来賓のみなさま

「連合第14回定期大会 (2015. 10. 6-7)」にて新会長に就任された神津里季生連合会長、林 昭男副知事をはじめとする多くのご来賓にご臨席いただき、連帯のごあいさつをいただきました。



神津 里季生 連合会長



林 昭男 鳥取県副知事



多くの祝電・メッセージも届きました



伊藤 保 民主党鳥取県支部連合会代表(鳥取県議会議員)



湯原 俊二 民主党鳥取県支部連合会副代表

新規加盟組織あいさつ



【写真左より】

・自治労「自治労鳥取公共サービスユニオン (11名)」組織紹介する 江口 真也自治労鳥取本部副執行委員長
・政労連「高齢・障害者雇用支援機構労働組合鳥取支部 (5名)」組織紹介する 仲江 彩夏 政労連鳥取地方連絡協議会事務局長

退任役員

お世話になりました



井上さん



高見さん



濃崎さん



山内さん

【退任役員】
前会長 五十嵐 美知義 (UAゼンセン)
前副事務局長 井上 準一 (JR連合)
前執行委員 椎木 盛夫 (JAM)
〃 金井 宏正 (自動車総連)
〃 高見 裕喜 (フード連合)
前会計監査 濃崎 耕次 (情報労連)
〃 山内 秀将 (全水道)

新役員

よろしくお祈りします

2016-2017年度 連合鳥取役員名簿

Table with columns: 役職, 氏名, 産別・委員会・地協名等, 備考. Lists board members like 本川博孝, 弘中光典, etc.

大会宣言

わたしたちは、9月末に閉会した第189通常国会における政府・与党の暴挙を決して許さない。
一つは、労働者派遣法の改悪である。今回の見直しは、「均等待遇原則」と「派遣は臨時的・一時的業務に限る」という世界の常識から大きく逸脱しており、「生涯派遣で低賃金」を助長するものである。
もう一つは、国会内の数の力で安全保障関連法を強引に成立させたことである。多くの国民が「説明不足」「議論が尽くされていない」と反対や疑問の声をあげ、法曹界からは憲法違反という指摘があったにもかかわらず、国民の理解と合意形成を得る努力を怠り、採決を強行した。これは民主主義に対する暴挙であり、断じて許されるものではない。
加えて政府は、いわゆる「アベノミクス」の成果を喧伝しているが、貧困率は上昇し、格差社会が進行している。年収200万円以下で働く労働者が1,100万人を超え、働く者を使い捨てにする、いわゆるブラック企業も後を絶たない。経済の好循環には「底上げ・底支え」「格差是正」こそが必要である。しかし、政府は「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国にする」ために、労働者保護ルールを破壊しようとしている。働く者を犠牲にする成長戦略を認めるわけにはいかない。
いまこそ連合は、働く者・生活者の一人ひとりの怒りを結集し、社会を変革する大きな力にかえていく。そして、集団的労使関係を社会の隅々まで張りめぐらし、互いに支え合い、助け合い、ともに運動する仲間の輪を拡げていく。同時に、東日本大震災を風化させることなく復興・再生を引き続き全力で支えていく。

私たちがめざすのは、すべての人が自分の居場所と出番を見出し、かけがえのない人生をたくましく生きることができる社会。すなわち、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、セーフティネットが組み込まれた「働くことを軸とする安心社会」である。
社会の不条理に立ち向かい、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻すために連帯して立ち上がろう。
来年の第24回参議院議員選挙は、そのための重要な闘いである。巨大与党の暴走を止め、働く者・生活者の声を政治に反映させるため、連合組織内比例代表候補12名はもとより選挙区での推薦候補者当選に向け、連合鳥取2万7千人の総力を挙げて闘う。
わたしたちは、本定期大会で決定した運動方針に基づき、新たな労働運動のスタートをきる。ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう！



提案する 太田 女性委員長